

精力的な活動の紹介

従来の集いでは、知事と県老連理事が、老人クラブ・高齢者問題を中心としながらも、県下の各地域における諸課題について「意見交換会」を開催しておりましたが、今回は、現在精力的な取組を進められている老人クラブ活動に焦点を当てた事例発表が行われました。

1件目は、コロナ禍にあっても非常に広範な活動を行っておられる芦屋市老連の「サロン・ドウ・茶屋」の川廷会長からのご報告。2件目は、昨今の老人クラブの休止・解散が非常に多くなり、会員でなくなった個人の高齢者が、活動したくとも

その受け皿がないという状況を踏まえ、三田市老連本庄地区老人クラブ連絡協議会が取り組んでおられる「オープンクラブ」について辻会長からご報告をいただきました。



サロン・ドウ・茶屋 川廷夙子 会長



本庄オープンクラブ 辻幹夫 会長

兵庫県からのコメント

今後の老人クラブ活動のあり方を考える上でのモデルとして期待!

ちの見守りに繋がる老人クラブ活動の「見える化」の好例である。

「オープンクラブ」について

「工夫すれば柔軟な組織を作り得る」ということとであり、今後の老人クラブのあり方を考える上で、一つの選択肢となり得るのではないかと考えている。

また、一定の地域内で個人会員を集結することで廃止クラブを再構築するということとあり、①「地区内」としていること、②「会則」を定めていること、③老人クラブの精神である「健康」「友愛」「奉仕」をもって、「奉仕活動を義務づけて」いることが重要である。また試行的な取組と思われるので、今後の動向を注視させていただきたい。

「サロン・ドウ・茶屋」の活動について

県老連のスローガンである「楽しくなる・夢中になる・笑顔になる」を体現するような魅力的な活動を展開されており、これが、今年11月の厚生労働大臣表彰につながったと考えている。また、ウォーキング会は、地域の防犯や子供た



わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています